

第13回しまくとぅば語やびら大会

うんなまつり2日目の7月29日、村コミュニティセンター大ホールにて『第13回しまくとぅば語やびら大会』が開催されました。

村内5校の児童・生徒と一般の部から8組の出場者が、各々の「しまくとぅば」で、それぞれ個性あるスピーチを行っていました。その他にも、お手玉を使った童歌のアトラクションや、ミス恩納ナビーによる『琉歌大賞』のPRなどもあり、会場に駆けつけた多くの観客の皆様楽しんでいただきました。

本大会の最優秀賞は、児童・生徒の部から山田中学校1年生 糸数美緒樹^{みおぎ}さん、一般の部から吉山盛守さんが選出されました。今回、出場いただきました発表者の皆様、並びに関係者の皆様、ご協力ありがとうございました。来年度も開催予定となっておりますので、多くの皆様のご参加お待ちしております！



糸数 美緒樹さん



吉山 盛守さん



会場の様子

ライオンズクラブ役員

村長表敬

7月26日、恩納ライオンズクラブの新役員らが長浜村長を表敬訪問しました。

大濱会長は「今年度もこれまで継続している献血活動やさんご保全支援活動等を行い、さらに統合予定の中学校にて薬物乱用防止の講演会を開催したい」と報告があり、長浜村長は「私もライオンズクラブの会員です。これまでのクラブの奉仕活動を評価しており、村としても協力していきたい」と話しました。



サンゴ保全へ

寄付金贈呈

8月10日、ルネッサンスリゾートオキナワの知花功総支配人が恩納村漁業協同組合を訪ね、山城正巳組合長に寄付金79,804円を手渡しました。

寄付金は同ホテル開業30周年記念イベントの一環として行った「サンゴ植え付け体験」の参加料と募金を合わせたもので、同漁協への寄付としてはサンゴの村宣言後初めてとなるものです。

知花総支配人は「サンゴやきれいな海、自然といった沖縄の宝を大切にしていきたいと考えています。ぜひ役立ててほしい」と話しました。



左から宮平ディレクター、知花総支配人、山城組合長、比嘉漁協参事